



公立小中学校の耐震改修状況の調査結果について（設置者別：鹿児島県）

設置者名	Ⅰ 構造体の耐震化(棟単位)														Ⅱ 屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するもの落下防止対策(※)							Ⅲ 左記以外の非構造部材の耐震点検・耐震対策(学校単位)																			
	非木造							木造							※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井(棟単位)							耐震点検状況					耐震対策状況														
	現状				耐震化率			現状				耐震化率			全棟数	耐震点検実施棟数	うち、学校設置等による点検実施棟数	耐震点検実施率	耐震対策実施率			耐震対策実施棟数	うち、学校設置等による点検実施棟数	耐震対策実施率	耐震対策実施率			耐震対策実施棟数	うち、学校設置等による点検実施棟数	耐震対策実施率	耐震対策実施率										
	A	B	C	D	E=(A+B)/A	F	G	H	I=B	J	K	L	M	A'					B'	C'	D'				E'=(A'-B')/A'	α	β				N=O+P	Q	R	S=T+U	T	U	V	W	X	Y=W/V	Z
全棟数	耐震性がない棟数(※4.1現在)	耐震性がない棟数(※4.1現在)	左記のうち、(※4.1)未実施棟数	耐震性がない棟数(※4.1現在)	耐震性がない棟数(※4.1現在)	耐震性がない棟数(※4.1現在)	耐震性がない棟数(※4.1現在)	耐震化率が100%となる年度	耐震化が遅れている理由(回覧表記載)	全棟数	耐震性がない棟数	左記のうち、(※4.1)未実施棟数	左記のうち、(※4.1)未実施棟数	耐震化率が100%となる年度	耐震化が遅れている理由(自由記載)	全棟数	耐震点検していない棟数	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)	耐震点検していない棟数(※5)				
与論町	16	0	0	0	100.0%	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	4	0	4	4	4	100.0%	4	4	4	100.0%	4	4	4	—	—
合計	2,789	0	0	0	100.0%	27	13	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	753	620	133	698	663	556	95.3%	532	76.4%	533	536	—	—				

※1 ①統廃合等と併せて実施するため ②学校数が多く事業の平準化を図っているため ③他の事業を優先的に進めざるを得ないため（他の公共施設整備を優先しているため） ④財政的な理由により取組が遅れているため  
 ※2 平成18年1月25日付け国土交通省告示第184号の別添「建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に規定された木造建築物の耐震診断の指針に基づく診断(以下「告示に基づく診断」とする)を行った  
 ※3 屋内運動場等：屋内運動場・武道場・講堂・屋内プールとして使用する大規模空間（高さが6mを超える又は面積が200㎡を超える空間）  
 ※4 「落下防止対策実施済み」とは、吊り天井・照明器具・バスケットゴールの全てに対して、補強・再設置などの対策（吊り天井については、国土交通省が平成26年4月に施行された技術基準を満たす対策。撤去を除く。）を実施した又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた棟数  
 ※5 「照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済」とは、照明器具・バスケットゴールの全てに対して、補強・再設置などの対策を実施済の棟数又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた棟数